

# 包装用品のコンビニエンスストア いつもお客様のおそばにいる 地域密着型便利店

パッケージプラザ  
カワタ

くめナビ vol.7-3

普段は何気なく使用する生活用品。その中には用途に合わせて、様々な工夫が凝らされている包装容器がある。

これらの包装容器は、決して華美ではないが、商品の流通には必要不可欠で、「商品の保護と情報

伝達」という機能が凝縮されている。

パッケージプラザカワタ(大田区久が原、川田健二社長、03・3753・0806)は、包装用品・食品容器を中心に事務用品・店舗用品・文具・パーティーグッズ・イベント商品など、幅広く多種多様な商品の販売を行っている。

同社は、昭和6年に創業者が、お弁当箱としてよく目にする木製の「折箱」製造を始めたことを機に、大田区を中心に時代とともに販売手法を変化させながら、地域のお客様に愛され続けてきた。業歴は



同社創業の原点である「折箱」



川田健二社長(右側)。左側は先代の川田邦夫会長

80年以上を誇る。現在は、業務用商品の取扱いはもちろん、地域行事や学校行事・家庭で使える商品まで、消費者のニーズの多様化・時代の要求に応じて、様々な素材の商品を取り揃えている。地域との共存共栄をモットーに、お客様のニーズに合わせたオーダーメイドの提案や包装資材への名入れも行っている。これから秋の行事(お祭り・運動会・学園祭)や年末年始行事(クリスマス・お正月)に向けて、続々と商品を入荷予定。店舗への来店はもちろん、気軽に問い合わせで欲しいとのこと。

常日頃から「外に目を向けトレンドを把握して提案することを心掛けています」と言う川田社長は、「お客様一人ひとりに寄り添い、直接顔と顔を合わせニーズに応える。信頼関係を大切に、キメ細やかなより良い商品・より良いサービスの提供に努め、多くのお客様の「こういうモノを探していた!」という笑顔が見たい」と話す。

詳しくはホームページにて

<http://www.package-kawata.com>